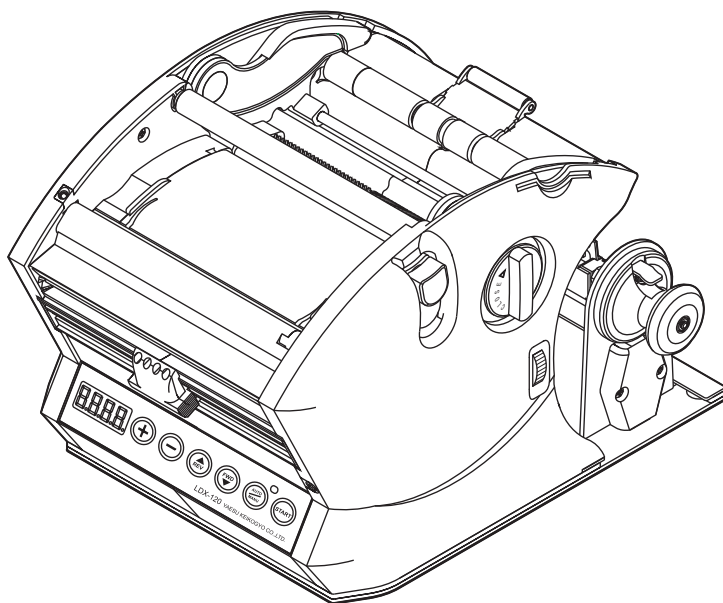


**Yaesu**

AUTO LABEL DISPENSER

**LDX-60, 120, 180**

取扱説明書



保証書は本書内に記載されています。

# はじめにお読みください

このたびは、ラベルディスペンサーLDXシリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ございます。

本シリーズは日常の使い易さに配慮すると共に、使用するラベル巾に出来る限りコンパクトに対応できるよう、3種類ご用意しました。

ラベルディスペンサーLDXシリーズの操作手順は60、120、180共通です。

本機を正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。

お読みになった後は、すぐ取り出せる所に保管し、必要に応じてご利用ください。

なお、この取扱説明書は保証書を兼ねています。

修理の際に必要なとなりますので、P16の保証書に必要な事項をご記入のうえ大切に保管してください。

また、記載事項に不足、誤りがあると保証期間内の故障であっても無償修理が受けられなくなる場合がありますので、ご注意ください。

---

## 目次

---

P3	安全上のご注意
P3-4	記号表示について/警告/注意
P5	本体各部名称
P6-7	ラベルセット
P8-10	各種モードの使い方
P10	巻き取った台紙を取り除く
P11	ラベルロールの乗せ換え
P12	各部の調整
P13	お手入れ
P13	エラーメッセージ
P14	故障診断
P14	仕様
P15	保証とアフターサービス
P15	修理を依頼されるときは
P16	保証書

---

# 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。

いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

---

## 記号表示について

この取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



注意を示します。  
記号の中に具体的な内容が描かれているものがあります。



禁止行為を示します。  
記号の中に具体的な内容が描かれているものがあります。



行為を強制したり指示したりすることを示しています。  
記号の中に具体的な内容が描かれているものがあります。

---

## 警告

---



濡れた手で電源プラグの抜き差し、又は本機の操作をしないでください。  
感電の原因になります。



本機は業務用機械です。取り扱い方法を熟知しない人や、特に子供が興味本位に触れないよう、十分気をつけてください。

思わぬケガの原因になります。



お手入、点検の際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
思わぬケガの原因になります。

---

## 注意

---



回転部分に毛髪などを巻き込まれないように注意してください。  
思わぬケガの原因になります。



本機を濡らしたり、水のかかる場所に設置しないでください。  
感電や故障の原因になることがあります。



本機の改造、分解は絶対にしないでください。  
思わぬケガや故障の原因になります。



電源プラグの抜き差しは、必ず電源プラグを持って行ってください。  
コードを引っ張ると、断線によるショートや感電の原因になります。



台紙差し込み口の中に異物を絶対に差し込まないでください。  
故障の原因になることがあります。



本機を使用している間は、必ず作業者がそばに付いてください。また機械を離れる時は電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
思わぬケガの原因になります。



電源コードを破損するようなことはしないでください。  
傷つけ、改造、引っ張り、重いものを乗せる、挟み込む、など電源コードが破損し、感電、ショート、発火の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。  
差し込みが不完全の場合、接触不良による発熱、火災の原因になります。



極端に温度や湿度の高い場所やホコリの多い場所での使用は避けてください。  
故障の原因になります。

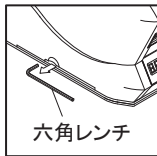
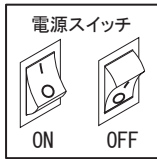
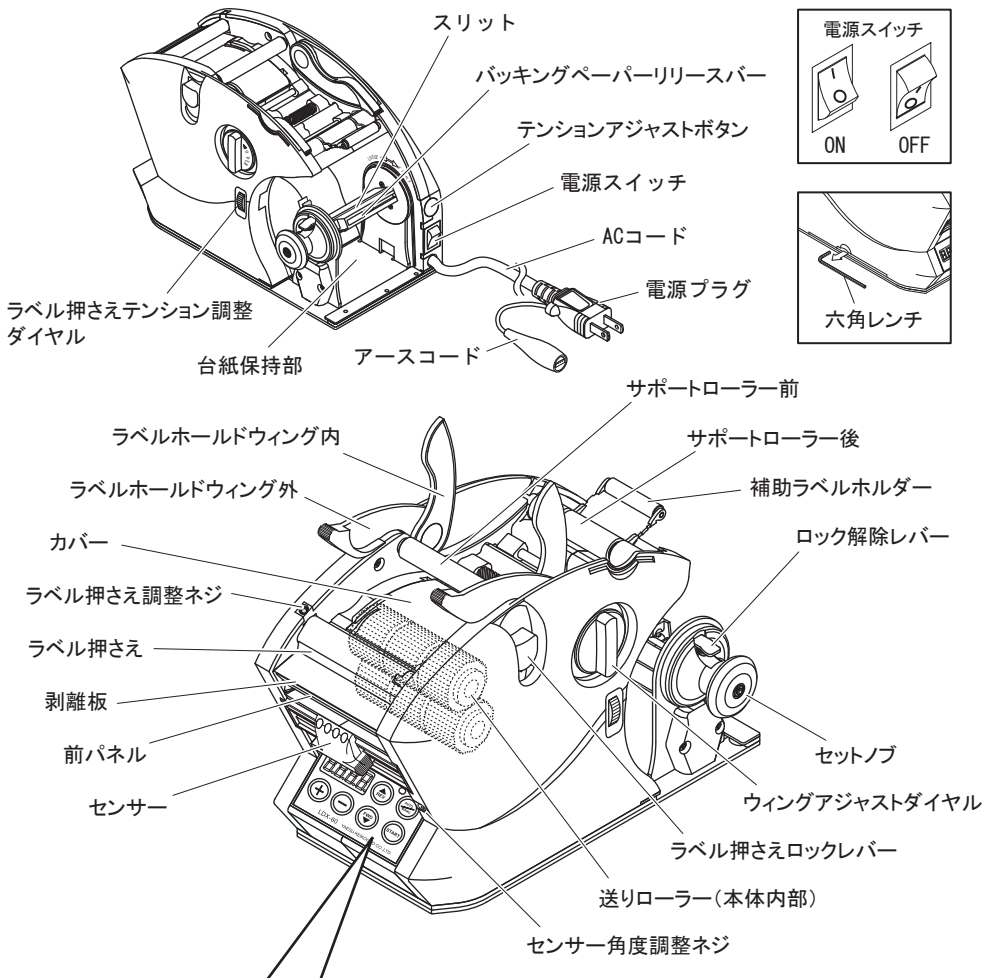


安定した水平の場所に設置してください。  
ぐらついた台の上などに置くと、製品が落下してケガや故障の原因となることがあります。

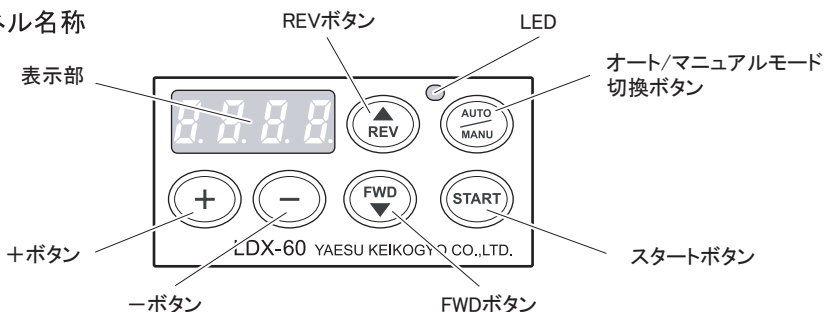


本機はラベル剥離以外の目的に使用しないでください。  
思わぬケガや故障の原因になります。

# 本体各部名称



## 操作パネル名称



( LDX-120, 180は、ボタン配列が一列になっています。ボタンの表記を確認の上ご使用ください。)

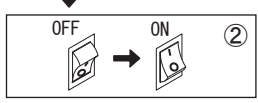
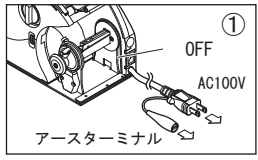
ラベルセット作業時は、本文及びP-7の説明イラストを参照してください。

- ラベルロールの先端部より約30cmラベルが貼られていないラベルロールを用意します。
- 電源スイッチがOFFになっている事を確認します。①
- 電源プラグをコンセントに、アースコードをアースターミナルに接続します。①
- 電源スイッチをONにします。②
  - ・ピッと音がして表示部が点灯します。（前回使用時の表示）
- 表示をLモードにします。③
  - ・スタートボタンの長押しを繰り返して表示切り換えをします。
  - スタートボタンを長押しする事で、順送りにLモード→Cモード→Pモード→Fモードを表示します。
- ラベルホールドウイング左右、補助ラベルホルダーを起こします。④
- ラベル押さえロックレバーを下げて、ラベル押さえを剥離板から浮かせます。④
  - ・ラベル押さえロックレバーを下げると前パネルが開きます。
- 以下の手順でラベルロールを本体にセットします。④・[台紙経路]
  - a)片手でラベルロールを持ち、台紙をラベル面を上にしてサポートローラー前の下側を通します。
  - b)台紙を剥離板とラベル押さえの間を通し、ラベルロールをサポートローラーに乗せます。
- ラベルホールドウイングがラベルロールに軽く当たるまでウイングアジャストダイヤルを回します。⑤
- ウイングアジャストダイヤルを少し戻してラベルロールがスムーズに回転するようセットします。⑤
- ラベルホールドウイングの内側を紙管に、外側を台紙の横部に当たるようセットします。⑤・[台紙経路]
- 前パネルの開口部より送りローラーに台紙先端が当たるまで差し込みます。⑤
- 差し込んだ台紙を保持しながらFWDボタンを少しずつ数回押して、台紙を送ります。⑥
- FWDボタンを押した時に台紙が送られる事を確認したら、ラベル押さえロックレバーを本体側に押し込んでラベル押さえを元の位置に戻します。⑦
- FWDボタンを少しずつ数回押して送りローラーを動作させます。
- 台紙が本体後方から出てきたら、台紙先端をバックングペーパーリリースバーのスリットに差し込みます。⑧
  - ・バックングペーパーリリースバーが台紙をセットし難い向きの時、作業し易い位置までバックングペーパーリリースバーを手で回してください。
- FWDボタンを少しずつ数回押して、台紙がバックングペーパーリリースバーに巻き付いているか確認します。
  - ★台紙の巻き取りがゆるい、又は巻き取らない時は、P-10「各部の調整」を参照してください。
- FWDボタンを少しずつ押して、ラベルが剥離板先端部で台紙から剥がれる事を確認します。⑨
  - ★ラベルが台紙から剥がれずに本体内に入ってしまう時は、P-10「各部の調整」を参照してください。
- FWDボタンを数回押して数枚ラベルを取り、台紙が左右に寄らないか確認します。⑩
  - ★台紙が左右どちらかに寄る時は、P-10「各部の調整」を参照してください。
- センサーがラベルの下に隠れるようセンサーの位置を調整します。
- 剥離板に乗っているラベルを取ります。
- 取り易い位置にラベルをセットするために、P-8「各種モードの使い方/Lモード」を参照してください。

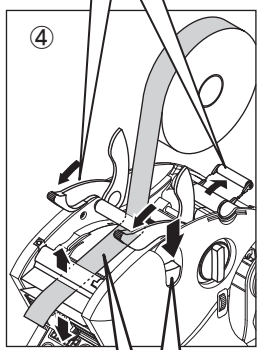


ラベル単体が本体内部に入らないよう十分注意してください。  
本体内部で貼り付き、故障の原因となります。

# ラベルセット

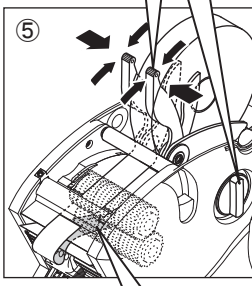


ラベルホルドウィング・補助ラベルホルダーを引き出す



ラベル押さえロックレバーを下げて台紙をセット

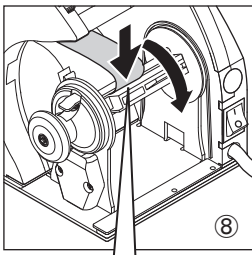
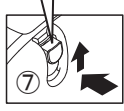
ラベルホルドウィングをセット



台紙先端を送りローラーに当てる

FWD 台紙を送る

⑥  
ラベル押さえロックレバーを押して元の位置に戻す

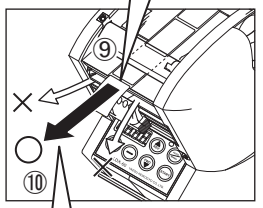


バックイングペーパーリリースバーのスリットに台紙をセット

FWD 台紙を送る

バックイングペーパーリリースバーが台紙を巻き取っているか確認する

ラベルが台紙から剥がれる事を確認



ラベルが真っ直ぐに出る事を確認

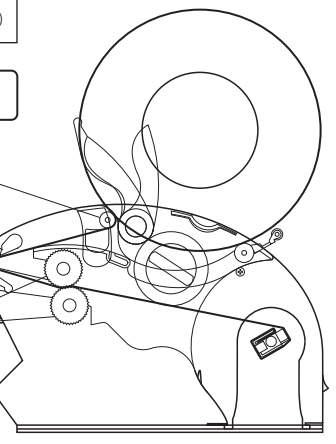
センサー位置調整

剥離板に乗っているラベルを取り除く

台紙経路

FWD FWD ボタンを極短時間押し動作を続けて、少しずつラベル(台紙)を送ります。

サポートローラー前  
ラベル押さえ  
剥離板  
前パネル  
送りローラー



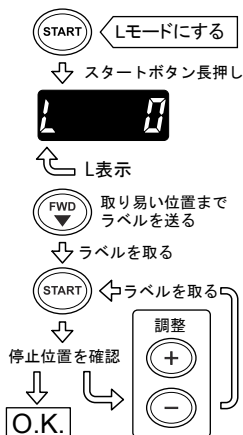
## 各種モードの使い方

L・C・P・Fの4種類の設定モードは、ピーツと音がするまでスタートボタンの長押し操作を繰り返す事で、順送りに表示切り換えします。

### Lモード (ラベル送り長さ設定モード)

表示部の左側にLが表示され、あとの3桁には0から9の数字が表示されます。

- センサーの上にラベルが無い事を確認します。
- FWDボタンを短く押して少しずつラベルを送り出し、概ね取り易い位置まで出てきたらラベルを取ります。
  - ・センサーの上にラベルが無い時にFWDボタンを押すと表示が「0」になり、ラベル先端がセンサーを通過するとカウント表示を開始します。
  - ・センサーの上にラベルがある時はスタートボタンを押しても作動しません。
  - ・ラベルを送り過ぎて台紙から取れてしまうなど、センサーの上からラベルが外れた時は、操作を最初からやり直します。
- スタートボタンを押してラベルを送り出し、停止位置の確認をします。
  - ・停止位置が手前の時は+ボタン、行き過ぎた時は-ボタンを押して停止位置を修正します。(表示される数値を目安にセットしてください。)
  - ・ラベルを取り、スタートボタンを押してラベルを送り出します。
  - ・上記操作を数回繰り返して希望の停止位置にセットします。



### Cモード (カウントアップモード)

表示部に0から9999までの数字が表示されます。

表示を0(リセット)にする時は、オート/マニュアルボタンを長押しします。

リセットした時は、1の位の0のみ表示されます。

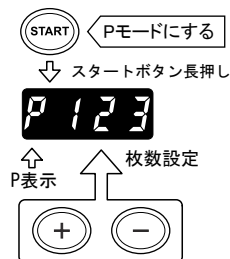
- センサーの上に待機しているラベルを取り、次のラベルを送り出して待機状態になると表示が1進みます。
- ・カウントアップは0から9999まで表示し、また0に戻ります。



### Pモード (カウントダウンモード)

表示部の左側にPが表示され、他の3桁には0から999の数字が表示されます。

- スタート時の送り数は、+ボタン、-ボタンで1から999まで設定できます。
- +ボタン、-ボタンは短く押すとピツと音がして1ずつ、長押しするとピツ、ピツと連続的に数字が変化します。
- 表示が0になると、ピーツと音がしてスタート時の設定枚数を表示します。





## Fモード (ラベル送り速度設定モード)

本機はラベル停止位置の精度を向上させるため、ラベル送り長さに合わせて自動的に送り速度が変化するようプログラムされています。

送り長さが最短～29までの範囲において速度は50～90まで段階的に変化します。

送り長さ30以上で速度は100となります。

通常の使用に際しては、Fモードを飛ばして各種設定を行ってください。

作業の都合上どうしても速くしたい、又は遅くしたい時は、Lモードを経由して速度設定します。

設定可能範囲は50～100までで、10ステップ刻みで設定可能です。

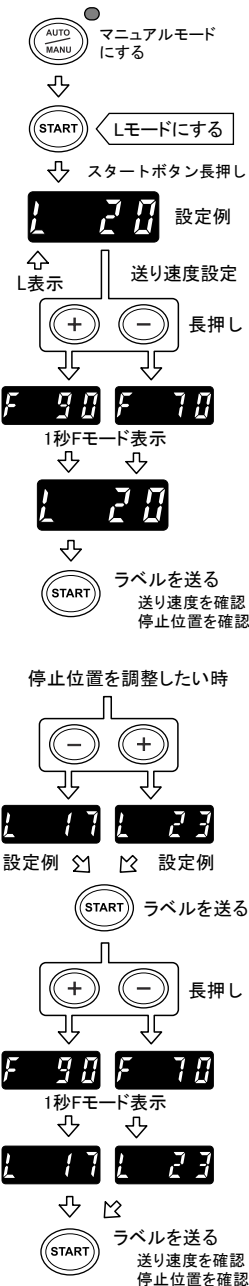
(表示される数字は最高速度を100とした場合の目安として表示します)

設定は以下の手順で行います。

- オート/マニュアルボタンを押して、マニュアルモード(LED消灯)にします。  
(P-10 オート/マニュアルモードの項を参照してください)
- スタートボタンの長押しを繰り返して、Lモード表示にします。
- 速くしたい時は+ボタン、遅くしたい時は-ボタンを長押しします。
  - ・約1秒間Fモードに切り換わり、1段階速くなった(遅くなった)数字を表示した後L表示に戻ります。
- スタートボタンを押してラベルを送り、ラベル送り速度、及び停止位置の確認をします。
  - ・本機の設定プログラムを外した使用となりますので、停止位置が変化する場合があります。
- 停止位置を調整する必要がある時は、+(-)ボタンを押して調整します。
  - ・この操作を行うと、本機の設定プログラム速度に戻りますので、以下の操作が必要になります。
- センサー上にあるラベルを取り、スタートボタンを押してラベルを送ります。
- +(−)ボタンを長押しして、希望の速度設定をもう一度行います。
- センサー上のラベルを取り、スタートボタンを押してラベルを送ります。
- 希望の速度、停止位置になっている事を確認します。
  - ・スタートボタンの長押しを繰り返してしてFモード表示にすると、変更後の速度を確認できます。
- その他の設定を使用用途に合わせてください。

(ご注意)

- ★ 設定前の速度が50の時は、それ以上遅くなりません。
- ★ 設定前の速度が100の時は、それ以上速くなりません。



## 各種モードの使い方

### オート/マニュアルモード

オート/マニュアル切り換えボタンを押す毎にピッと音がしてLEDが点灯、消灯を繰り返します。

#### オートモード（LED点灯）

- オート/マニュアル切り換えボタンを押してLEDを点灯状態にします。
  - ・ センサーの上にラベルがある時はラベルを取ると次のラベルを送り出します。
  - ・ センサーの上にラベルがない時は、オートモードに切り替えた時点でラベルを送り出します。
  - ・ オートモードの状態では電源をOFFにした時、次に電源をONにするとLEDは点滅状態になります。
  - ・ オートモード状態の時にラベル停止位置設定を行うとLEDは点滅状態になります。
  - ・ LEDが点滅状態の時は、オート/マニュアル切り換えボタンを2度押しする、又はラベルを取ってスタートボタンを押し、次のラベルを送って点灯状態にします。

#### マニュアルモード（LED消灯）

- オート/マニュアル切り換えボタンを押してLEDを消灯状態にします。
- スタートボタンを押すと、ラベルを送り出します。  
(センサーの上にラベルがある時は、スタートボタンを押しても作動しません。)



ラベルを取ると次のラベルを自動的に送り出して待機

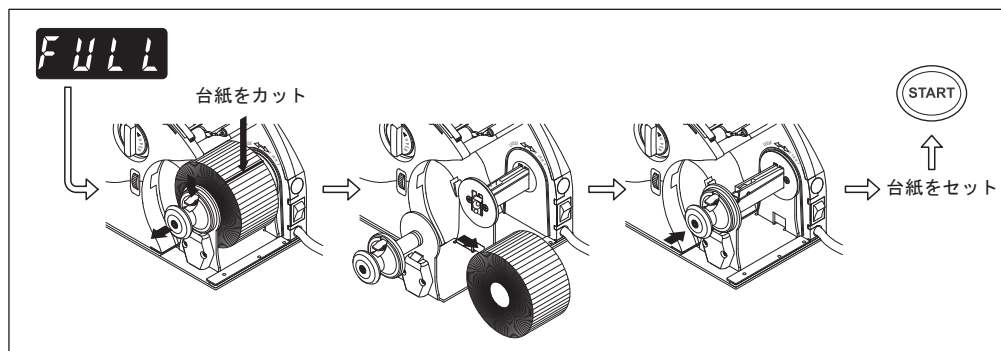


スタートボタンを押すとラベルを送り出して待機

## 巻き取った台紙を取り除く

巻き取った台紙が一杯になると、ピーッと音がしてFULL表示が点滅し、動作が停止します。

- 巻き取った台紙をカッターなどで切ります。
- セットノブにあるロック解除レバーを押しながら、セットノブを引き出します。
  - ・ セットノブを引き出すと台紙排出部と一緒に引き出され、巻き取りアームから外れます。
- 台紙を取り除きます。
- セットノブをカチッと音がするまで本体側に押し込みます。
- 台紙を巻き取りアームにセットします。
- スタートボタンを押すと、通常動作になります。



## ラベルロールの乗せ換え

使用中のラベルロールを使い終わったら、以下の手順で交換します。

オートモード時は、ラベルを使いきってセンサーの上にある最後のラベルを取ると、送りローラーが動作した後停止し、LEDが点滅します。

オートモード・マニュアルモード共、ラベルがない状態でスタートボタンを押すと、送りローラーが動作した後停止します。

### 同じ種類のラベルロールをセットする時

- FWDボタンを押し続けて台紙を送り、バックングペーパーリリースバーに巻き取ります。
- セットノブにあるロック解除レバーを押しながら、セットノブを引き出します。
  - ・セットノブを引き出すと台紙排出部と一緒に引き出され、巻き取った台紙がバックングペーパーリリースバーから外れます。
- 台紙を取り除きます。
- セットノブをカチッと音がするまで本体側に押し込みます。
- P6「ラベルセット」の手順に従ってラベルをセットします。
- オート/マニュアルボタンを長押しして、当初設定してあるラベル送り長さ表示にします。
- 使用していたモードに戻します。
- スタートボタンを押してラベルを送ります。
  - ・オートモードの時は、LEDが点滅状態から点灯状態に戻ります。

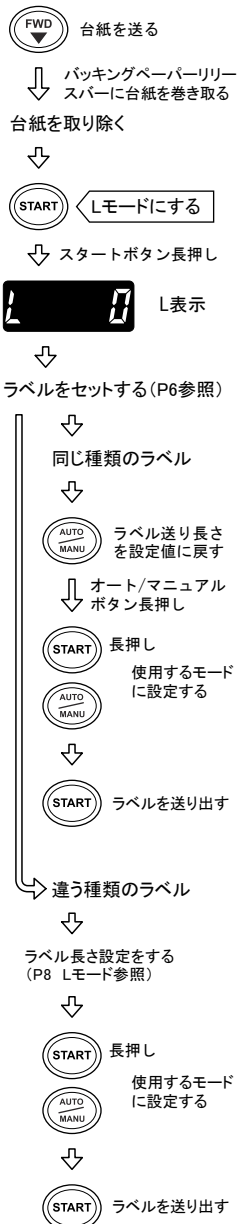
### 違う種類のラベルロールをセットする時

- FWDボタンを押し続けて台紙を送り、バックングペーパーリリースバーに巻き取ります。
- セットノブにあるロック解除レバーを押しながら、セットノブを引き出します。
  - ・セットノブを引き出すと台紙排出部と一緒に引き出され、巻き取った台紙がバックングペーパーリリースバーから外れます。
- 台紙を取り除きます。
- セットノブをカチッと音がするまで本体側に押し込みます。
- P6「ラベルセット」の手順に従ってラベルをセットします。
- P8「Lモード」の手順に従ってラベル送り長さを設定します。
- 使用状況に応じてその他のモード設定を行います。
- スタートボタンを押してラベルを送ります。

ご注意:

Lモードでラベルセットをしている時、FWDボタンでラベルを送り出した後ラベルを取り除いてスタートボタンを押すと、スタートボタンを押した時の数値が新たな設定値となります。  
同じ種類のラベルを続けて使用する時は、ラベル後端がラベル押さえを通過するまでFWDボタンでラベルを送り、オート/マニュアルボタンを長押しして当初の設定値に戻した後、ラベルを取り除いてスタートボタンを押してください。

Cモード、Pモードで使用している場合、ラベルがなくてもスタートボタンを押す毎にカウントしますので、連続でカウントしたい時はラベルセット中に間違ってもスタートボタンを押さないよう注意してください。



## 各部の調整

本機の使用において、ラベルの種類や使用状況などによっては下記の調整が必要になる場合があります。

### ラベル(台紙)の送りが斜めになる場合 (図1)

- ラベル押さえ調整ネジで調整します。
  - ・正面から見て左に寄る時は、ネジを締め込みます。
  - ・右に寄る時は、ネジを緩めます。

### ラベルが剥離板先端部で台紙から剥がれない場合 (図2)

- ラベル押さえテンション調整ダイヤルをTIGHT方向に回して調整します。
  - ・1回転させたら本機を動作させて剥離するか確認します。
  - ・剥離板先端部でラベルが台紙から安定して剥がれるようになるまで調整します。

注)ラベル押さえテンション調整ダイヤルが、それ以上回らなくなった状態でラベルが剥離しない場合、本機の使用を中止してください。

### 台紙の巻き取りがゆるい、又は台紙が切れる場合 (図3)

- テンションアジャストボタンを押しながら、バックングペーパーリリースパーを回します。
  - ・巻き取りがゆるい時はTIGHT方向に、台紙が切れてしまう時はLOOSE方向に回します。
  - ・台紙が巻き取りアームに巻き付いて回転するまで、調整します。

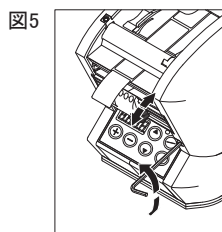
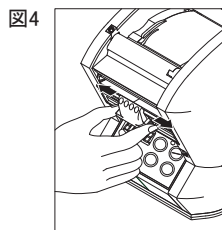
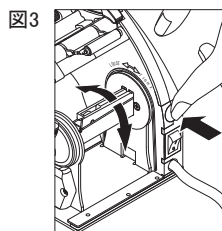
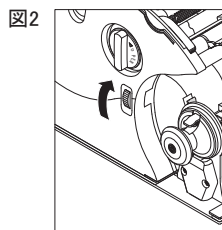
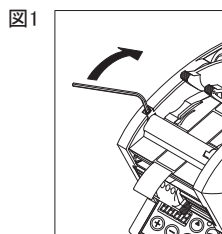
### ラベルが検知できない場合 (図4・図5)

- センサーの位置を左右に動かして、最も良くラベルの検知ができる位置を探します。
- センサー角度調整ネジを回して、センサーが待機状態のラベルに対して直角に向くよう調整します。

### センサーの感度チェック (図4・図5)

センサーの位置調整が適切かどうかを以下の要領でチェックします。

- センサーの上にラベルを待機させた状態で、電源スイッチをOFFの位置にします。
- スタートボタンを押した状態で電源スイッチをONの位置にします。
  - ・表示部に0から100までの数字が表示されます。
  - ・表示部の数字が大きい程検知状態は良好です。
- センサーの左右位置や角度を動かして、最適な位置に調整します。



## お手入れ

### ■本体のクリーニング

中性洗剤を適量入れた水にウェスを浸し、固く絞って本体を軽く拭いてください。  
溶剤は、絶対に使用しないでください。

### ■センサー周辺

センサー開口部が塞がれてしまうと、ラベルの有無を検知出来なくなります。

- ・センサー周辺は常に綺麗にしてください。
- ・センサー開口部内が汚れている時は、センサー本体にキズを付けないよう注意しながら綿棒などで清掃してください。

### ■ラベルの除去

- ・本体に貼りついたラベルを除去する時は、ノリが残らないようきれいに剥がしてください。
- ・本体内部の送りローラーにラベルが貼り付いた時は、カバー左右の凸部をマイナスドライバーなどを使用して内側に寄せながら持ち上げる要領で外し、送りローラーに貼りついたラベルを除去します。

## エラーメッセージ

本機を使用中にブザーが鳴って停止した場合、以下のエラーメッセージを表示します。  
その場合は、エラーの原因を取り除いた後通常の手順に従って再度ラベルをセットし直してください。

### E-01 モーター停止

ラベルを送っている時に、モーターに過負荷がかかって停止した場合に表示されます。

- 巻き取った台紙をカッターなどで切ります。
- ラベル押さえロックレバーを下げて、ラベル押さえを剥離板から浮かせます。
- REVボタンを押して台紙をバックさせ、台紙を引き出します。
- 送りローラー周辺にラベル貼り付きなどが無い事を確認します。
  - ・送りローラーの回りにラベルが貼り付いている時は、カバーを外して清掃します。
  - ・カバーを外す時は、ラベルホルダーを左右一杯まで広げ、カバー左右を内側に押しながら引き上げます。
  - ・この状態でスタートボタンを押して、送りローラーが回転する事を確認します。
- 通常の手順に従ってラベルをセットし直してください。

**E-01**



上記の手順に従って作業中、REVボタンを押しても送りローラーが回転しない時は、速やかに電源スイッチをOFFにし、使用を中止してください。



上記の手順に従ってラベルをセットしても再度E-01が表示される時、又はエラー表示されない状態で停止する等、本機に異常が発生した場合は、速やかに電源スイッチをOFFにし、使用を中止してください。



本機を使用中にモーターが停止すると共に表示部が消えた場合、電源スイッチをOFFにして数分間待ち再度電源スイッチをONにしてください。電源スイッチをONにしても表示部が点灯しない時は、速やかに電源スイッチをOFFにし、使用を中止してください。

## 故障診断

故障と判断する前に、以下の項目をチェックしてください。

電源スイッチをONにしても動かない	電源プラグがコンセントから外れている ヒューズが断線している	プラグが確実に差し込まれているか確認してください。 新しいヒューズに交換してください。 ただし、頻繁にヒューズが切れる時は直ちに使用を中止してください。
オートモードが作動しない	マニュアルモードになっている センサーの上に異物が乗っている ラベルがセンサーの上を通過していない センサーの至近距離に光源がある	希望のモードにセットしてください。 異物を取り除いてください。 センサーの位置を修正してください。 光源からの光が直接センサーに当たらないようにしてください。 ※ラベルの種類や使用環境によっては、オートモードで使用出来ない場合があります。
ラベルの送り長さ設定値の数値が違う		ラベル送り長さ表示は目安ですので、表示された数値は、実際の送り長さとは異なります。 また、ラベルロール幅、送り速度設定、センサー角度を変更した際にも多少のズレが生じます。



上記チェックをしても動作に異常がある時は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社にお問い合わせください。

## 仕様

機種名	LDX-60	LDX-120	LDX-180
電源	AC100V 50/60Hz		
入力電圧範囲	±5%		
消費電力	40 W	45 W	50 W
外形寸法	104 W x 140 H x 215 D (mm)	164 W x 157 H x 231 D (mm)	224 W x 157 H x 241 D (mm)
重量	約2.1kg	約3.3kg	約4.6kg
材質	帯電防止ABS樹脂		
ラベルホルダー調整可能幅	20～60 (mm)	20～120 (mm)	20～180 (mm)
使用可能ラベル幅	15～60 (mm)	15～120 (mm)	15～180 (mm)
使用可能ラベル長さ	10～999mm		
ラベル送り速度	100mm/秒 ～ 200mm/秒 (6段階に設定可能)		
最大ロール外径	Φ200	Φ250	Φ300
付属品	調整用六角レンチ		

- ラベルの種類、形状によっては、上記仕様範囲内であっても使用できない場合があります。
- 改良のため予告なしに仕様変更する場合があります。

# 保証とアフターサービス

## 保証期間

保証期間はご購入の日から6ヶ月間です。  
一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

## 保証書

この製品には保証書を添付しております。保証書は必ず「ご購入日、販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよく読みの後、大切に保管してください。

## 修理に関するご相談及びご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、ご購入の販売店または当社へお問い合わせください。

## 修理を依頼されるときは

「故障診断」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、ご購入の販売店または当社にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## 保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、ご購入の販売店または当社にて修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。

## 保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

## 修理の時に必要な情報

トラブルの状況をできるだけ詳しく書いたメモを修理品と一緒にお送りください。

### < 無料修理規定 >

1. 本保証書に提示の保証期間内に正常な使用状態（取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書に従った使用状態）で故障した場合には、ご購入の販売店または当社にて無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、ご購入の販売店または当社に必ず本保証書をご提示の上、お申し付けください。
3. 保証期間内でも次の場合は有料とさせていただきます。
  - (1) 本書のご提示がない場合
  - (2) 本書にお買い上げの年月日、お客様名、お買い上げの販売店名の記入がない場合、および本書の字句を書替えられた場合
  - (3) 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障および損傷
  - (4) お買い上げ後の取付場所の移送、落下などによる故障および損傷
  - (5) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷
  - (6) 一部消耗部品の交換
5. この保証書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in japan.
6. この保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

### 修理メモ

\* この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものではありません。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ご購入の販売店または当社にお問い合わせください。



<http://www.yaesu1965.com>

キリトリ線

## 保証書

製品型名 LDX - 60 / 120 / 180		製造番号
お客様様	お名前	
	ご住所	
お買い上げ日		販売店名・印
年 月 日		
保証期間		
本体:	6ヶ月	

お客様の正常な使用において万一故障した場合には、本書裏面に記載の保証規定により無料修理させていただきます。

- 修理は、本保証書を添えてお買い上げ販売店または、当社にご相談ください。
- 本保証書はお買い上げ年月日、販売店名の記載捺印のない場合は無効となりますので、必ず記入の有無をご確認ください。
- 本保証書は再発行しません。

大切に保管してください。  
(裏面をご覧ください。)

### ヤエス軽工業株式会社

東京都足立区千住元町39-8  
〒120-0041

TEL: (03)3888-8751  
FAX: (03)3888-1592